

AMED データ利活用プラットフォーム データ利用報告書
終了報告書（抜粋）

報告日：令和 8 年 5 月 8 日

受付番号：S24-003
データ利用機関名：国立大学法人東京大学医学部附属病院
申請代表者名：平川 陽亮
研究課題名：糖尿病関連腎臓病に寄与するレアバリエントの頻度探索
利用期間：令和 7 年 3 月 4 日～令和 8 年 1 月 30 日
研究実施概要：
AMED データ利活用申請管理システムへの申請に沿って、下記の研究を行った。まず、AMED データ利活用プラットフォームに登録されている症例（BBJ, NCBN 由来）に対し、病名情報から 2 型糖尿病症例を抽出し、その中で糖尿病性腎症病名を有する症例と有さない症例に 2 分した。それぞれの症例に対し、腎疾患に関連するレアバリエントを探索し、頻度の差を調べた。結果として、各群で腎疾患に関連するレアバリエントの保有頻度に差は認められなかった。これまでの研究で、糖尿病性腎症症例には無視できない割合の腎疾患に関連するレアバリエントが存在するとされてきたが、今回の研究では、糖尿病性腎症に限らず 2 型糖尿病全般において無視できない割合の腎疾患に関連するレアバリエントが存在すると示された。
研究成果実績（学会誌・雑誌等における論文一覧）：
Hirakawa Y, Sugawara Y, Nangaku M. Prevalence of diagnostic Mendelian kidney disease variants in type 2 diabetes with and without diabetic kidney disease. J Diabetes Investig. 2026 Apr 1. doi: 10.1111/jdi.70296.